

ENJOY ROTARY

ROTARY

CLUB

Fukushima Chuo

◆ 福島中央ロータリークラブ ◆
since 1990

よいことのために手を取りあおう

Rotary
福島中央RC



福島中央ロータリークラブ会報

事務局 〒960-8051 福島市曾根田町4-22
TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212
E-mail:info@fukushimachuo-rc.com



HP

2025年7月16日(水)

第3回(通算1630回) エフズサンパレス
「新旧役員歓送迎家族例会・RAC合同例会」

会長あいさつ

2025-26年度会長 鈴木 努



みなさんごきげんよう。これは桜の聖母学園の挨拶だそうです、先生も学生・生徒さんたちもごきげんようで始まり、ごきげんようの挨拶で終わるそうです。我々大人もしっかり挨拶をしないとイケないなと痛感致しました。

7月3日木曜日、福島21ロータリークラブにメイキャップに行っていました。先日小林潤子青少年奉仕委員長より子ども食堂いずみに、インターアクトのボランティアの募集をしてほしいとのことでした。分区内7クラブに要

請をしたところ、福島21ロータリークラブの桜の聖母高校のインターアクトクラブが手を上げてくださいました。インターアクト会長をはじめ20数人の生徒さんたちにお願いをしてみました。まだ内容を把握していないみたいなので、返事は後日となりました。福島中央ローターアクトクラブにも今日お願いするつもりです。

また今日は新旧役員歓送迎会、家族例会およびローターアクトクラブ合同例会となっております。大勢の方に出席いただきましてありがとうございます。前年度理事役員の皆様方、大変ご苦労様でした。引き続き理事役員の方よろしくお願ひいたします。ローターアクトクラブも新旧役員を交代されたと思います。今期もよろしくお願ひいたします。さらに今日はお2人のお客様にオープン例会に参加していただいております。お2人にはロータリークラブの雰囲気味わっていただきたいと思います。

それから7月10日は佐藤元彦クラブ戦略計画委員長のお力を借りて、ズームでクラブサポートミーティングに参加してまいりました。県北第一分区、第二分区のと泉田ガバナーとの対話をするミーティングでした。詳しくは別の機会にお話ししますが、年5回あります。

それでは例会をエンジョイロータリー、よろしくお願いします。

ENJOY ROTARY



例会次第

- ◆開会点鐘 鈴木 努会長
- ◆ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 坂本 和司会員
- ◆ローターアクトの歌 ソングリーダー
福島中央RAC 相樂 一誠会員



- ◆「ロータリーの目的」唱和
奉仕プロジェクト委員会 齋藤 康隆会員
- ◆お客様並びに来訪ロータリンの紹介
- ・BHIS 主宰 アサノコウタ様
- ・有限会社デミアン 代表取締役 佐々木隆行様
- ・福島中央ローターアクトクラブ
鈴木 奈々江会長
相樂 一誠幹事
ビャムバドルジ・アナラ 会員
佐藤朋子会員
- ◆会長あいさつ 鈴木 努会長
- ◆ロータリー用語の解説 山田 稔SAA
- ◆福島中央RAC上期事業計画発表
福島中央RAC 鈴木 奈々江会長
- ◆福島中央RAC新会員入会式 佐藤朋子会員
- ◆福島中央RACへ活動資金10万円の贈呈
- ◆幹事報告 菅野 幸一幹事
- ◆RAC幹事報告 相樂 一誠幹事
- ◆各委員会報告
- ・ニコニコBOX委員会報告 川瀬 哲雄委員長
- ◆2024-25年度 各表彰
- ◆閉会点鐘 鈴木 努会長

《新旧役員歓送迎例会》

- 司会:親睦活動委員会 坂本 和司委員長
- ◇「福島中央ロータリークラブの歌」
ソングリーダー 亀岡 政雄会員
- ◇開会の言葉 菅野 幸一幹事
- ◇会長あいさつ 鈴木 努会長
- ◇新理事・役員の紹介
- ◇乾杯 佐藤 信雄直前会長
- ◇手に手つないで ソングリーダー 佐藤 龍史会員
- ◇閉会の言葉 穴戸 宏行副会長

新旧役員歓送迎家族例会・RAC合同例会



RAC上期事業計画

鈴木 奈々江会長

福島中央RACのクラブターゲット

「挑戦」

今年度は、今までの活動を活性化させるために2つ新しいことに挑戦します。

1点目は、「企画型例会」です。

今までの例会を、もっと活性化させるために会員の持ち寄り企画を取り入れて学びのある例会にしていきます。現段階で考えているのは、以下の3つです。

- ①国際交流・・・ベトナムから来ている米山奨学生などを交え、料理を通じた交流を図る
- ②AI勉強会・・・これから求められるスキルを学ぶ
- ③まちづくり、農業支援・・・地元福島の活性化、農家の収入アップに貢献

2点目は、「財源の確保」です。

ロータリーの行事や外部のお祭りで、相楽会員の家のお米、安達会員の家の梨、モンゴルから仕入れた雑貨販売を通して運営資金の獲得を目指す。

<準備を進めているイベント>

8月23日の須賀川の花火大会で梨の販売を行う。

(須賀川ロータリークラブの方に協力をしていただき、準備を進めているところです)

新しい企画に挑戦して、クラブ内の活動の活性化をしたいと思っています。

今年度も、よろしくお願いいたします。



RAC新会員

佐藤 朋子会員

活動資金贈呈



特別個人表彰

植木 博隆会員



優秀委員会賞

会報委員会



年間100%出席



ニコニコBOX賞

3万円達成



ニコニコBOX賞

5万円達成

2024-25年度 各表彰

事務局御礼

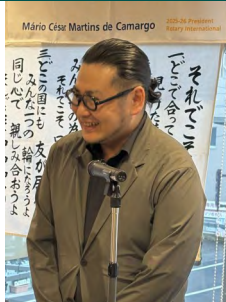


本日のゲスト



BHIS 主宰
アサノコウタ様

有限会社デミアン
代表取締役
佐々木隆行様



2025-26年度 理事・役員



声高らかに乾杯する出席者



アトラクションの抽選を楽しむ出席者

幹事報告



菅野 幸一幹事

- 1) 7月19日(土)13:30～郡山ユラックス熱海にて「2025-26年度クラブ活性化ワークショップ」が開催されます。当クラブから佐藤 元彦クラブ戦略計画委員長が出席いたします。
- 2) 7月20日(日)10:30～郡山ビューホテルアネックスにて「2025-26年度 事務担当者セミナー」が開催されます。当クラブからは鈴木事務局員が出席いたします。
- 3) 次週7月23日(水)は、7/21が祝日のため休会です。次回の例会は7月30日(水)福島民友新聞社への職場訪問例会となります。詳しい案内は後日お知らせいたします。ぜひご出席ください。
- 4) 第三回理事会報告

ロータリー用語の解説

クラブ内研修用スピーチ(第3回)
米山記念奨学会について

山田 稔SAA

本日は、『米山記念奨学会』についてご説明いたします。1952年(昭和27年)、当時の東京ロータリークラブの有志たちが発起人となり、戦後の国際親善と平和の推進を目的に、留学生への奨学支援を始めました。この活動は、国際理解を深めるロータリー精神の実践そのものであり、「将来、日本と母国との架け橋となる人材を育てよう」という志に基づいています。

その後、この制度は全国のロータリークラブに広がり、1983年には「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」として法人化されました。



米山梅吉

米山梅吉は東京芝田村町に明治元年(1868)に生まれました。父は大和国高取の藩士 和田竹造、母は静岡三嶋大社の神官日比谷右京の娘うた、その三男である。生時、和田姓、梅吉4歳の時(満年齢以下同じ)、父竹造死去、止むなく母の郷里三嶋に母とともに移り住んだ。梅吉は幼時から神童といわれた英才であった。郷里の納米里(なめり)という処に「映雪舎」という塾のような小学校があった。梅吉は7歳の時、そこに入学した。兄の和田栄次郎がそこで教師をしていたからである。

梅吉11歳の時、納米里の隣部落、上土狩(かみとがり)の米山家がこの出来のよい少年に眼をつけて養子にと望んだ。この米山家は旧今川時代から北條時代を経て四百年も続いた旧家、名主の家で、時の当主は十三代藤三郎、夫人はさく、春子[戸籍上はる]という一人娘(明治7年生)がいた。後の米山夫人である。映雪舎を終えた梅吉は明治14年(1881)沼津中学に入学した。毎日2里(8km)の道を長泉(ながいすみ)から歩いて通った。この学校は私学で、今の県立沼津東高の前身である旧制沼津中学ではない。前身を沼津兵学校といい、今も沼津駅前には、兵学校跡の記念碑が建っている。徳川慶喜が大政を奉還して駿府に隠棲した時、多数の幕臣がそれにつれて移り住んだ。その子弟の教育のために造られた学校である。

三井銀行に身を投じ、常務取締役、三井信託初代社長、退いて三井報恩会の理事長として全国に奉仕活動を続けた。外に大正9年、日本にはじめて東京ロータリークラブを創設し初代会長、更に青山学院の初等教育に終身献身した。その人、名は米山梅吉と言う。この人、一方では漢詩、和歌、俳句もよくした文人で、藍壺(あいづぼ)と雅号した。幼児よりよく遊んだ黄瀬川にかかる滝、藍(鮎壺とも言う)にちなんで行けられたという。

米山梅吉は三井物産の福島喜三とアメリカに行った時に出会い、日本でのロータリークラブの設立に繋がりますが、本日は奨学会の話なので省略いたします。

この制度の目的は、単に学費を支援するだけではなく、将来、日本と母国の橋渡し役として活躍してくれるような人材を育てることです。

現在では、年間約900人前後の留学生が『米山奨学生』として支援を受けており、卒業後も『学友』としてつながり続けることが多いです。

東南アジアや東アジアの国々(中国、ベトナム、韓国、インドネシア、マレーシア、モンゴル、ネパール、台湾、ミャンマーなど)寄付は、主にクラブ会員の皆様からの『普通寄付』や『特別寄付』によって賄われています。普通寄付金は奨学事業の運営費に充てられ、クラブで決めた金額を全員が寄付します。福島中央RCでは5000円になっていると思います。特別寄付金は奨学会の将来の基金として積み立てられ、まとまった金額で寄付するケースが多くあります。毎年の寄付額は自由ですが、継続的に支援することで、多くの若者が日本で安心して学び、交流の輪を広げることができます。

奨学生は、クラブの例会に参加したり、スピーチをしてくれたりと、単なる受け手ではなく、私たちと一緒に活動に関わる『仲間』でもあります。クラブ内で担当のカウンセラーを置き、まさに“家族のような関係”を築いていくのもこの制度の特長です。

以上、米山記念奨学会についてのご説明でした。



ロータリー用語を解説する山田SAA

本日の出席率

会員数	41名
出席者総数	20名
うち出席免除会員出席	1/4名
出席率	52.6%

ニコニコBOX委員会報告

川瀬 哲雄委員長



ニコニコBOX委員会
報告をする川瀬委員長

★小銭BOX 1,331円

安藤 正道会員	今野 朗会員	穴戸 宏行会員
石橋 真一会員	斎藤 高紀会員	鈴木 努会長
植木 博隆会員	齋藤 康隆会員	多田 憲司会員
梅津 寿光会員	坂本 和司会員	芳賀 裕PG
亀岡 政雄会員	佐藤 和子会員	山田 稔会員
川瀬 哲雄会員	佐藤 信雄会員	渡邊 英世会員
菅野 幸一幹事	佐藤 龍史会員	

目標 130万円

本日の投入額 20件 21,000円

累計 93,331円



福島21RC例会訪問

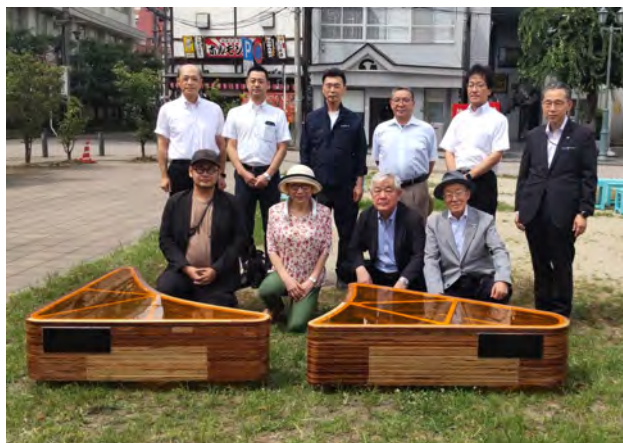
2025年7月3日(木) 鈴木 努会長
桜の聖母高校インターアクトクラブへ、
子ども食堂いずみボランティアのお願い

創立35周年記念事業 福島市への寄贈ベンチ設置式

2025年7月18日(金) 13:30~14:00
福島市 さんかく広場



設置式に挑む
佐藤直前会長



ベンチ設置式に
出席した会員ら



寄贈されたベンチに
掲げられたプレート



寄贈されたベンチ2台



寄贈ベンチ設置式



おみやげに紅茶をいただきました

地区財団奨学生の佐々木 駿さん

2025年7月18日(金)

2023-24年度 当クラブ推薦の地区財団奨学生の佐々木駿さんが、オーストラリア メルボルン大学の卒業の前に一時帰国して、当クラブ事務局に挨拶に来られました。

学生の頃の話や、卒業後はオーストラリアの会計事務所で日系企業をメインに会計業務をするなど、終始和やかな歓談でした。

また、学友会やローターアクトクラブの話で盛り上がり、今後のロータリーとの関わりに期待が持てました。

地区ロータリー財団委員会 副委員長 佐藤 龍史